

8月29日開催 BIA 研究会 議事録

1. 日時：2014年8月29日（金）15:00～17:00

2. 場所：事業継続推進機構神田事務所

3. 出席者（敬称略）：

野田（座長）、伊吹、織田、榎川、斎藤、田中（Skypeで出席）、岡田

4. テーマ：「BIAの基本」

5. 議事

(1) 織田さんから、資料「BIAの基本」、「BIAにおける「重要事業/重要業務」の研究」に基づいて説明

(2) 資料説明等に対する討論

①BIA策定は事業継続戦略を策定する前提条件を明確にするフェーズ。

②BCAOテキストでは、「BIAの中で、代替の有無を明確にする」と記述。

⇒事業継続戦略を検討するための前提として、代替有無は確認しておくべき

・判断するための要素として代替可能なのか認識しておく

③目標復旧時間は、自社の都合だけで決めていいのか、客先の要望を反映させるべきか？

⇒別枠にて、以下の時間の概念について議論することとする。

・目標復旧時間（RTO）

・目指すべき復旧時間（RTG）

・許容中断時間（MTPD）

④「重要」事業/業務ではなく、「優先」事業/業務という用語を使うのはどうか？

⇒社員の士気減の懸念もあり、「重要」は避けるべき

・経営層から社員に「重要ではない事業」を伝えることは事実上できない

→「優先させる事業/業務」と伝えるべき

⑤「重要でない業務」を執行する組織がBCPを作成する際、BCP策定は必要なのか？上位のBCPが前提になるのか？

・「重要でない業務で作るBCP」は、『BCP』というのか？

・防災計画などは実施する必要はある

・BCPの概念からは、策定の優先度が下がる

・BCP策定を指示されなかった事業は、「重要でない事業」と認識されるのではないか？

→経営者は、当該事業に対し、よりビジネスを向上させるように社員に説明/指示するべき

⑥BCP を策定することにより、環境変化に対応できる能力が向上する、とはどう整理するか？

⇒ビジネス環境の変化は、災害により起こりうる（災害だけではない）

・日頃の改善活動をすることにより、インシデント発生時の対応力が向上する

⑦BIA の構成要素は以下の 5 点。

- i. 重要業務の明確化
- ii. 重要業務に不可欠な資源、要素の整理
- iii. 中断した際のビジネス影響の時系列分析（定量、定性）
- iv. 許容中断時間の把握
- v. 目標復旧時間の整理・決定

⇒RTO 決定のための情報整理をしなければならない

6. 次回予定：2014 年 9 月 12 日（金）15:00～17:30 同会場にて

・テーマ：「各部署、機能にとっての BIA の必要性を語るにあたっての視点」

・進行：岡田 予定

以 上